

東京芸術劇場リニューアル記念公演



東京文化発信
プロジェクト

G.ロジェストヴェンスキー & 読売日本交響楽団

チャイコフスキー 後期交響曲チクルス

ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー | 指揮 |
読売日本交響楽団 | 管弦楽 |



オールチャイコフスキープログラム 15:00 開演 | 14:00 ロビー開場 |

A 10.6 | 土 | ピアノ協奏曲第1番 ロ短調 (ピアノ：V. ポストニコワ)
交響曲第4番 ヘ短調

B 10.7 | 日 | 幻想序曲「ロメオとジュリエット」／イタリア奇想曲
交響曲第5番 ホ短調

C 10.8 | 月祝 | ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 (ヴァイオリン：S. ロジェストヴェンスキー)
交響曲第6番 ロ短調「悲愴」

2012

東京芸術劇場コンサートホール

※未成年者の入場はお断りいたします。
※やむを得ぬ理由により曲目等変更の可能性がございますのでご了承ください。

事業提携を行う読売日本交響楽団とその名誉指揮者であるロシア最後の巨匠、 ゲンナジー・ロジェストヴェンスキーによる日本で20年ぶりとなる 至高のチャイコフスキー後期交響曲連続演奏会が東京芸術劇場 コンサートホールのリニューアルを記念してついに実現!

現代ロシア最後の巨匠のひとりロジェストヴェンスキーは優れたバトンテクニックの持ち主で、マゼールと並び“オーケストラドライブの達人、コントローラー”とでもいうべき世界的マエストロである。今回、特に芸劇リニューアルを記念するということで約20年ぶりに実現したチクルスは現在望みえる世界最高レベルのチャイコフスキー演奏が期待できる必聴の機会となる。



ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー Gennady Rozhdestvensky

1931年、モスクワ生まれ。モスクワ音楽院でピアノをレフ・オポーリンに、指揮を父であるニコライ・アノーソフに学ぶ。20歳の若さでボリショイ劇場においてチャイコフスキーのバレエ「眠れる森の美女」を指揮してデビュー。ボリショイ劇場、モスクワ放送交響楽団、BBC交響楽団、ウィーン交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団で要職を務める。ヨーロッパの一流劇場にも招かれており、ロイヤル・オペラ・ハウス（ムソルグスキー「ボリス・ゴドゥノフ」）、パリ・オペラ座（チャイコフスキー「スベードの女王」）、ミラノ・スカラ座（リムスキー＝コルサコフ「皇帝サルタンの物語」、ワーグナー「さまよえるオランダ人」）などに登場している。

ロシアを代表する名匠で1979年12月、読響と初共演、90年には名誉指揮者に就任する。長年ロシア音楽の紹介に努め、2001年秋、勲三等旭日中綬章を受章。

2011年、自身の80歳の誕生日と指揮デビュー60年を祝い、改修後のボリショイ劇場で「眠れる森の美女」抜粋、「ボリス・ゴドゥノフ」より戴冠式の場、ラフマニノフの交響曲第2番を取り上げた特別演奏会を行った。



ヴィクトリア・ポストニコワ (ピアノ) Victoria Postnikova (Piano)

モスクワの音楽家の家庭に生まれる。3歳でピアノを始め、4年後にはモーツァルトのピアノ協奏曲を弾いてデビュー。1962年から67年、モスクワ音楽院においてピアニスト、教育者として名高いヤコフ・フリエールに学ぶ。ショパン国際ピアノ・コンクール、リーズ国際ピアノ・コンクールなど世界的コンクールでの入賞をきっかけに、世界各地で演奏活動始める。

ヨーロッパではこれまでにウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、国立パリ管弦楽団など世界一流のオーケストラと共演。北米ではニューヨーク・フィルハーモニック、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団などに招かれている。共演した指揮者は、バルビローリ、ポルト、デイヴィス、マズア、テミルカーノフ、コンドラシン、メニューイン、そして夫でもあるロジェストヴェンスキーなどいずれも超一流である。

レコーディングも数多く、チャイコフスキーのピアノ協奏曲全集、プロコフィエフのピアノ協奏曲全集、ムソルグスキーのピアノ作品集などが高い評価を得ている。



サーシャ・ロジェストヴェンスキー (ヴァイオリン) Sasha Rozhdestvensky (Violin)

サーシャ・ロジェストヴェンスキーはもともとすばらしいロシアの若手ヴァイオリニストの1人である。モスクワ音楽院、パリ国立高等音楽院、王立音楽大学 (RCM) でフェリックス・アンドリエフスキー、ジナイダ・ギレリス、ジェラルド・ブルーに師事。

国際的にも一流オーケストラのソリストとして極めて高い評価を得ており、これまでに共演したオーケストラとしては、バンベルク響、ボストン響、デトロイト響、フランス国立放送フィル、イスラエル・フィル、ロンドン響、フィルハーモニア管、ローマ聖チエチリア音楽院管、チューリヒ・トーンハレ管、トロント響などが挙げられる。

また、BBCプロムス、タンゲルウッド、ジュレスヴィヒ・ホルシュタイン、ラヴィニア、ロックンハウス、ラインガウなど数多くの音楽祭にも参加しており、カーネギーホール、ロイヤル・アルバート・ホール、バービカン・ホール、コンセルトヘボウ、フィルハーモニー、サル・プロイエルなどのメジャー・ホールに登場している。

現代音楽にも積極的に取り組んでおり、グバイドゥーリナ、カンチェリなどと親交を結ぶ。また、Thesis とジャンダスのレーベルで、ロイヤル・ストックホルム・フィルとジュニトケの合奏協奏曲6番などをはじめとする、多くの作品を録音している。ジュニトケの合奏協奏曲6番はアルフレッド・ジュニトケによりサーシャ・ロジェストヴェンスキーとヴィクトリア・ポストニコワのために書かれた作品で、1994年に初演されている。

チケット料金

S 6,800円 **A 5,800円** **B 4,500円** **C 3,000円** **D 2,000円**

セット券料金

S 18,000円

A 15,000円

B 12,000円

セット券割引はなし、枚数限定発売

発売日：2012年5月9日(水) セット券先行発売(3公演セット券)

2012年5月24日(木) 一般発売予定(*5月21日(月) 芸劇メンバーズ先行発売)

(*5月21日(月) 先行&割引 読売日響会員、東京文化会館友の会会員 *S席-B席10%割引)

※セット券及び割引販売は読売日響チケットセンター(読響会員)、東京文化会館チケットサービス(文化会館友の会)のみ発売

チケットのお申込み

●東京芸術劇場

<http://www.geigeki.jp/>

※劇場改修休館中はWebでの予約のみ承っております。

●読売日響チケットセンター

03-3562-1550 (平日10:00~18:00)

●東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650 (10:00~19:00)

●イープラス

<http://eplus.jp/>

●びあ

0570-02-9999 (24時間・音声自動応答)

*要Pコード:167-913

<http://pia.jp/t/> (PC、モバイル共通)

【店舗】各チケットびあ店舗、サークルK・サンクス、セブン・イレブン

●ローソン

クラシック専用オペレータダイヤル

0570-000-407 (10:00~20:00)

*要Lコード:33069

<http://l-tike.com/> (PC、モバイル共通)

【店舗】ローソン店頭(24時間受付)

キッズルームのご案内

公演の際は一時的託児がご利用できます(要事前予約・有料)。

■申込・問合せ先:東京芸術劇場キッズルーム準備室

(綱テノ、コーポレーション 東京本部) 電話:03-5413-3427

お問い合わせ

東京芸術劇場ボックスオフィス

03-5391-3010 (平日のみ)

※7月以降、電話・窓口での取扱いも順次開始予定です。

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
TEL:03-5391-2111

＜アクセス＞JR池袋駅、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下連絡の発着口で直結しています。



東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。

